

#垂水区社協 ★ 情報発信!!
 ~つなぐ・つながる・地域のカタチ~ vol.2

#垂水区社協 ★ 情報発信!!
 ~つなぐ・つながる・地域のカタチ~ vol.2

社会福祉法人
 神戸市垂水区社会福祉協議会



ソーシャル
 ディスタンス

発行 令和3年3月
 社会福祉法人
 神戸市垂水区社会福祉協議会
 〒655-8570 神戸市垂水区日向1-5-1
 電話：078-708-5151(代表)
 F A X：078-708-1332
 E-mail：info@tarumi-csw.or.jp



垂水区社協 検索

ツイッター
 フェイスブックも
 見てね!

デザイン 社会福祉法人すいせい
 就労移行支援事業所CASTビジネスアカデミー
 就労移行支援事業所Free-biz
 表紙イラスト：中島 崇



愛の輪・心かよわず市民運動



はじめに



令和2年は、新型コロナウイルス対策に明け暮れた1年でした。令和2年4月の緊急事態宣言下では、区内の多くの地域活動やボランティア活動が休止を余儀なくされましたが、その後、感染予防対策を取って、少しずつ少しずつ活動が再開されてきました。

今回は、“Withコロナ”を合言葉に、令和2年5月から令和3年1月までに垂水区社会福祉協議会のSNS(ソーシャルネットワークサービス)で発信した各地域の工夫ある取り組みをまとめました。

令和3年1月には2回目の緊急事態宣言が出され、依然として先の見えない状況が続いていますが、また皆で集える日が戻ってくると希望を持って活動している地域みなさんから元気をもらえるのではないかと思います。

垂水区社協は、今後も地域福祉活動の再開や新規立ち上げを応援してまいります。お気軽にお問い合わせください。

※掲載記事は、基本的にSNSで発信した当時の内容のままです。

もくじ

1.地域福祉活動の再開～Withコロナの活動へ～	01
よかったら使って、手作りマスク / 高齢者にマスクをプレゼント	
神陵台地区の給食会「あじさい」で、ひとり暮らし高齢者向け配食を実施	
垂水地区民児協の友愛訪問活動 / 子どもの居場所 東垂水希望・学びの部屋	
民生委員児童委員がLINEで見守り / ウキウキランチプラザ(ふれあい給食活動)が再開	
ボランティアグループ「ベアーズ・バンド」の活動におじゃましました	
癒し処「ぬくもり」の活動におじゃましました / 介護予防体操「爽やか元気クラブ・塩屋」活動中!	
「さくらシニア」の活動におじゃましました / 「7丁目クラブ」活動中!	
ふれあい喫茶「希望～のぞみ～」活動再開! / 音楽を楽しむつどいが開催されました	
2.実習生レポート	08
ふれあい給食グループ「ほのぼの」のお弁当配食会に参加しました	
つどいの場「かけはし」の卓球に参加しました	
3.新たな地域福祉活動	09
親子のための「リズム・ダンス教室Happiness」がスタート!	
地域における発達障害の「理解と支援」ネットワークが立ち上がりました	
4.垂水区社協の取り組み	10
「たるみふれあい電話」活動再開 / 「おたよりくらぶ」活動再開	
神戸商業高等学校にて講義を行いました	
いきいき終活セミナー～エンディングノートの書き方～を開催しました	
LINEでつながり作り講座を開講しました / 高齢者疑似体験を開催しました	
地域福祉活動の再開に向けて「衛生講習会」を開催 / あなたの「おいしい」が「社会貢献」に♪	

垂水区社協の事業紹介④



地域福祉活動の再開に向けて「衛生講習会」を開催(R2.12.28)

11月16日に、地域でつどいの場や食事会を運営されているボランティアグループ向けに説明会を実施しました。

まず、神戸市企画調整局つなぐラボからの「地域活動についての新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」を受けて、配食や会食を再開されているグループの代表者に、活動状況や参加高齢者からの声、感染予防で工夫している点等をお話いただきました。

次に、「手洗い・消毒のコツ秘訣!」の動画を上映し、手洗いや消毒の方法、消毒液の作り方等を再確認いただき、最後に今年度の報告書の記載方法をお伝えしました。

参加者からは、感染予防や報告書の書き方についてさまざまなご意見や質問をいただき、コロナ禍で活動を制限されている中でも地域のためにできることをやりたいという皆さんの熱意が伝わってきました。



あなたの「おいしい」が「社会貢献」に♪(R3.1.7)

昨年に引き続き、今年度も「募金百貨店プロジェクト」に「株式会社レーブドゥシェフ」が、ご参加いただけることになりました!!

1月8日から3月31日までの間、株式会社レーブドゥシェフの名谷本店、垂水駅前店、プリコ垂水店で、対象の「純生シェフロール」(税込1,080円)を購入すると、その売り上げの一部が垂水区共同募金委員会へ寄付されます。

あなたの「おいしい」が「社会貢献」になる、寄付つき「純生シェフロール」。

ぜひこの機会にお試しください☆

【実施店舗の所在地】

- (1)名谷本店 神戸市垂水区名谷町321-1
- (2)垂水駅前店 神戸市垂水区神田町2-16
- (3)プリコ垂水店 神戸市垂水区神田町1-20東館

あなたの買った「おいしい」が社会貢献に
売り上げの一部が垂水区共同募金委員会へ寄付されます!

「募金百貨店プロジェクトとは...」
参加企業と一緒に、「寄付つき商品」を企画・販売し、売り上げの一部を寄付していただくことができます。
いつものお買い物で地域支援にもつながる「新しい寄付のカたち」です。
昨年に引き続き、今年度も募金百貨店プロジェクトに「株式会社レーブドゥシェフ」がご参加いただけることになりました!

参加企業:株式会社レーブドゥシェフ
期間:1月8日(金)～3月31日(水)
実施店舗:①名谷本店 神戸市垂水区名谷町321-1
②垂水駅前店 神戸市垂水区神田町2-16
③プリコ垂水店 神戸市垂水区神田町1-20東館
対象商品:純生シェフロール 1,000円(税込 1,080円)

お問合せ
垂水区共同募金委員会(垂水区社会福祉協議会内)
受所:〒655-8570 神戸市垂水区日向1-5-1
TEL:078-708-5151 FAX:078-709-1332



「LINEでつながり作り講座」を開講しました(R2.11.19)

11月11日(水)ボランティアさん同士の情報交換の場「The 談会」で、コミュニケーションアプリLINEの活用講座を実施しました。

今回の講座開催の目的は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で活動機会が減り、ボランティアさんどうしのつながりも希薄化している中、離れていてもつながりを継続する。また新たなつながりづくりの手段として、コミュニケーションアプリLINEの操作方法に触れる機会となるような場を設けました。

コロナ禍で「直接お話することができない」「スマホはあるけれど、LINEを使っていない」「LINEをうまく使いこなせない」という方など、多くの方に参加していただきました。

LINEが全く初めてだった方も、アプリをダウンロードし、お友達登録をして、トークを楽しまれたり、「もうすぐ鳴るよ!」「もしもし…聞こえへん!」と、目の前で電話をかけあっている方もいて、終始なごやかな雰囲気ですすみました。

神戸市外国語大学の9名の学生のサポーターが、受講生の質問にとっても丁寧に对应してくださり、参加されたみなさんは若い学生さんとの触れ合いを楽しまれながら、『知りたいことがわかってよかった』『ゆっくり丁寧に教えてもらい、理解することができた』との感想をいただきましたよ!

これからも「With コロナ」の中でも、つながりを絶やさないために「新しい地域福祉のカタチ」を目指して、地域のみなさんといろいろなことに取り組んでいきます。



高齢者疑似体験を開催しました(R2.12.4)

舞多聞ふれあいのまちづくり協議会での福祉講座で、高齢者を見守り、助け合いができる地域づくりについて学ぶため、高齢者疑似体験を開催しました。

ひざやひじを曲がりにくくするサポーター、身体にはおもりを巻き付け、手袋を装着することで身体の動きが制限されます。

また、白くにぎった色のゴーグルをかけると白内障のように物が見えにくくなり、イヤーマフを使うと耳



が聞こえにくくなります。それらを装着した状態で、歩いたりしゃがんだりお箸を使うといった日常動作を行い、高齢者の不便さを体験してもらいました。

当日は小学生を含め22名の方が参加され、「お年寄りの不自由さが少しわかった」「もっと多くの子ども達に体験させて欲しい」といった感想がありました。



よかったら使って、手作りマスク(R2.5.12)

垂水区連合婦人会が児童館に手作りのマスクを寄贈しました。

垂水区連合婦人会(小野愛子会長)は、会員が手作りした布マスク535枚を垂水区社会福祉協議会の善意銀行を通じて区内の15児童館、17学童保育コーナーに寄贈しました。

これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、「できることをできる範囲でやろう」との神戸市婦人団体協議会の呼びかけに応じて、会員が自宅で少しずつ手作りしたマスクを地域の子どもたちに贈ろうと取り組まれたものです。



寄贈を受けた児童館の1つ愛垂児童館では、この日、真新しい手作りマスクを手にした子どもたちが「かわいい」「大きさもピッタリ」などと、とても喜んでいました。

高齢者にマスクをプレゼント(R2.5.27)

東垂水ふれあいのまちづくり協議会と東垂水南地区の民生委員児童委員のみなさんが地域の高齢者へ手作りのマスクを配布しました。

民生委員児童委員さんは、日頃から高齢者を訪問したり食事会を開催したりしておられますが、現在はコロナウィルスの影響で自粛し、電話などでお元気確認をしておられるため、久しぶりの顔合わせを喜んでおられました。





神陵台地区の給食会「あじさい」で、ひとり暮らし高齢者向け配食を実施(R2.5.28)

垂水区では、普段お一人でお越しの高齢者等を対象に、38のグループが給食会(食事会)を実施しています。しかし、2月下旬以降、感染症予防のために給食会が実施できない日々が続いています。

「あじさい」では、不安に過ごされている高齢者と少しでも交流できる機会を設けるため、お弁当の配食を実施しています。



ボランティアさんは手指の消毒をし、マスクを着用した上で高齢者一人ひとりに声をかけながら、お弁当を手渡し。

来られた高齢者はお弁当を取りに来るだけでなく、久々に会う友人と顔を合わせ、距離を取つつも話に花をさかせています。

垂水地区民児協の友愛訪問活動(R2.6.01)

神戸市では、ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らせるよう、地域住民のボランティアによる友愛訪問活動(見守り活動)を推進しています。

しかし、2月下旬以降、感染症予防のためにご自宅を訪問することも自粛せざるを得ず、十分な見守り活動ができない日々が続いています。

垂水地区民生委員児童委員協議会(民児協)の友愛訪問活動ボランティアで元民生委員の川本芳子さんは、高齢者のご自宅にお電話し、安否確認を行うとともに、不安に過ごされている高齢者のお話し相手をしています。なじみの川本さんから電話をもらうことで、高齢者も安心してお話しすることができます。

神戸市が作成しているフレイル予防や詐欺防止等のチラシをうまく活用しながら、高齢者の気持ちに寄り添い、少しでも不安を軽減できるよう工夫されています。



神戸商業高等学校にて講義を行いました(R2.10.30)

10月27日(火)に、兵庫県立神戸商業高等学校で「障害者の就労支援と地域のつながり」をテーマに、垂水区地域自立支援協議会 就労支援部会とコラボワークを行いました。

就労支援部会より、「障害とは」「就労支援」についての講義と、就労継続支援B型事業所より活動紹介をしました。神戸商業高等学校の生徒さんは、事業所のホームページ作成などに授業で取り組んでおり、各事業所の事業内容や特徴を知る機会となりました。

また、垂水区共同募金委員会より「赤い羽根共同募金」の歴史や募金の使い道についてお話をしました。

授業を通し、「アンテナショップを今度見かけた際には立ち寄ってみたいと思った。」「赤い羽根共同募金が身近なもので、地域のために使われていることを知った。私たちにもできることをして、少しでも地域のためになれるようになりたい。」といった生徒の方々の感想をいただきました。

今年度も募金拡大期間の1月～3月に販売いたします、ごしまる缶バッジのデザインを生徒の皆さんにご協力いただきますので、楽しみにお待ちしておりますね♪



いきいき終活セミナー～エンディングノートの書き方～を開催しました(R2.11.9)

11月4日(水)に、垂水区文化センターのレバンテホールで「いきいき終活セミナー～エンディングノートの書き方～」を開催しました。

神戸新聞紙上に「エンディングノートでごきげんな毎日を」を掲載中の整理収納アドバイザーの竹裏由佳氏によるお話は、事例を挙げて具体的にわかりやすく、「目から鱗の気づきが沢山あり、前向きにとらえられるようになった。」との声が多数寄せられています。

コロナ禍のため、当初30名の定員で募集しましたが、250名もの応募があったため、急遽3密にならない大会場に変更し、応募者全員に参加いただきました。今後も区民のみなさまの関心の高いテーマを選んでセミナーを開催していきます。

※「垂水区版エンディングノート」は、垂水区社会福祉協議会で無料配布しています。



垂水区社協の事業紹介①



「たるみふれあい電話」活動再開(R2.6.11)

垂水区社協では、希望されるひとり暮らし高齢者のご自宅に電話をおかけしています。季節のこと、毎日のできごとなど、ボランティアさんがお話し相手をさせていただいており、現在25人の高齢者に電話しています。

しかし、3月以降、感染症予防のためにボランティアさんが活動場所にお越しいただくことができず、お電話ができない日々が続いていました。

緊急事態宣言発令中は、少しでも高齢者の不安をやわらげるため、ボランティアさんにご協力をいただきハガキを送ったりしていましたが、6月4日、ようやくふれあい電話を再開し、声を聞くことができました。

お友達と買い物に行く予定を励みに毎日を過ごしている等、近況をお話しつつ、久しぶりに電話でボランティアさんとふれあえる事を喜ばれている様子うかがわれます。



「おたよりくらぶ」活動再開(R2.7.7)

ひとり暮らしの高齢者に月1回、季節のおたより(絵手紙)を作成してお送りしています。

3月から6月は、新型コロナウイルスの感染予防のため、みんなで集まって作成することができませんでしたが、ようやく活動を再開しました。

今日は強雨のため3名でしたが、いつもは20名ほどのボランティアさんが集まって、約100通近くのおたよりを作成しています。

活動ができない間も、先生方にお手本を用意していただき、ボランティアセンターでコピーしてお送りしていましたが、やはり手書きのおたよりににはかないません。

こんな素敵なおたよりができましたよ♪手作りのので、同じものは1枚もありません。

おたよりを受け取った方々からは、「世の中、コロナで暗いニュースばかりですが、今日は元気の出る絵手紙を頂き、ホッと気持ちや和んでいます。」「おたよりが生きる喜びです。」といったお声をいただいています。



地域福祉活動の再開～Withコロナの活動へ～③



子どもの居場所 東垂水希望・学びの部屋(R2.6.1)

子どもの居場所になっている東垂水希望・学びの部屋を訪問しました。

新型コロナウイルスの影響で小学校は休校でしたが、「東垂水希望・学びの部屋」は、安全安心を優先しつつ3月以降も実施しています。登録児童は、各家庭の判断で利用しています。この日は、子どもが12名、スタッフが9名でした。

子どもたちはやってくるとすぐに持参した学校の課題や家庭学習に取り組み、その後、友達とカードゲームをしたり、風船を膨らませ遊ぶなど、思い思いに過ごします。

子どもたちは友達に会えて嬉しそうな表情でしたが、「早く外で遊びたいなあ」という声があちらこちらから聞こえました。じっとしているよりも動きたい、元気いっぱいの様子でした。

スタッフは三密・換気・消毒を徹底し、子どもの居場所を運営しています。



民生委員児童委員がLINEで見守り(R2.6.11)

星稜台地区の民生委員児童委員の日下さんは、無料通信アプリLINE(ライン)で地域の一人暮らしの高齢者Sさんの安否確認をしています。

Sさんは持病があり、家で倒れたら誰にも気づかれないのではないかと不安を感じておられました。しかし、頻りに訪問されるのは気を遣うとのことで、LINEでやり取りをすることになったそうです。

LINEでは主にスタンプを使い、たまに一言添えるだけですが、気を遣わないつながりはお互いに楽だと日下さんは話してくださいました。

コロナウィルスの感染拡大防止のため、民生委員児童委員が訪問活動を自粛せざるを得なかった時期も、変わらずLINEで安否確認ができ、とても助かったそうです。

これからの“Withコロナ”の見守り活動には、このような様々な方法を取り入れるといいですね。





ウキウキランチプラザ(ふれあい給食活動)が再開(R2.7.17)

新型コロナ感染症拡大予防のため、ひとり暮らし高齢者のふれあい給食活動が制約を余儀なくされるなか、垂水区の災害復興住宅ベルデ名谷で活動を続ける「ウキウキランチプラザ」では、約5か月ぶりに「配食方式」での活動を再開しました。

食事はプロの業者さんにオーダーし、フリーズドライのお味噌汁パックとお菓子を1品、そして心のこもったお手紙を添えました。

配食と言っても基本は参加高齢者に会場まで足を運んでもらい、短時間ではありますが会場内でお茶をお出しして短いおしゃべりのあと、お弁当を手渡す方式です。ただこの日は、あいにくの悪天候のため、会場まで来られない高齢者宅にはお弁当を持参しました。お弁当を手渡す際には、たとえ短時間でも笑顔は忘れません。

代表の壬生(みぶ)さんは、「あまり会話は出来ないけれど、やっぱり顔を見て笑顔を交わしたい。まだまだ手探りの状況が続きますが、22年間続けてきた仲間とともに工夫しながら頑張りたい。」と語っておられました。



ボランティアグループ『ベアーズ・バンド』の活動におじゃましました(R2.7.28)

7月23日、「神陵台厚生年金住宅50周年の集い」が行われました。

式典の後、ボランティアグループ『ベアーズ・バンド』さんが登場。住宅の皆さんも演奏を楽しみに集まってこられていました。

会場には消毒液が設置され、受付や模擬店の方はフェイスシールドを装着して、新型コロナウイルス感染予防対策をされていました。

ボランティアグループの皆さんも、メンバー全員の体温や体調を記入したチェック表を持参され、演奏中はフェイスシールドを装着。Withコロナでの活動ですね。

自治会の和田さんは「コロナでなかなか外出できないこの時期に、生演奏で歌を聴けるなんて、とても贅沢ですね。皆さんに生演奏を聴いて欲しくて、出演のお願いをしました。」とおっしゃっていました。

『ベアーズ・バンド』の戸田さんは「フェイスシールドは歌いやすいけれど、楽譜がちょっと見えづらい」と教えてくださいました。

50周年おめでとうございます!そして、楽しい時間をありがとうございました。



親子のための「リズム・ダンス教室Happiness」がスタート!(R2.6.25)

垂水区社会福祉協議会では、住民が主となり新たに立ち上げられる地域福祉活動を対象に、今年度より「垂水区地域福祉活動立ち上げ支援助成」を実施しています。

この助成を利用して、桃山台児童館を会場に、6月よりストレッチ・バレエ「リズム・ダンス教室Happiness」が立ち上がりました。

木曜日11時から穏やかなメロディに合わせて行われています。代表の秋田さんは、桃山台児童館の午前中の子育て支援事業であるすこやかクラブやひろば事業に参加されていた方です。

ご自身の経験から「子育てママのリフレッシュ、親子のふれあいの機会を増やしたい」と思われ地域の親子支援のための活動を始めることにしたそうです。ご興味のある方は、ご一緒に体を動かしてはいかがでしょうか。

【日時】 月2回木曜日11:00～12:00

【会費】 無料

【定員】 10組

参加をご希望の際は、桃山台児童館(電話753-6277)に申し込みをしてください。



地域における発達障害の「理解と支援」ネットワークが立ち上がりました(R2.1.7)

垂水区社協では、住民が主体となり新たに立ち上げる地域福祉活動を対象に、今年度から「垂水区地域福祉活動立ち上げ支援助成」を実施しています。

この助成金を受け、発達障害の子どもさんやご家庭を支援している「こうべLDの会」が主体となり、当事者・家族・支援者・福祉関係者等をつなぐためのネットワークが立ち上がりました。

11月に講演会「困り感のある子ども・若者へ寄りそう～発達障害の理解と支援～」を開催。共感された保護者や福祉関係者等から、「今後もつながりを持ちたい」との声があり、定期的に情報共有を行うことになりました。

12月23日に支援者が集まり、すでに支援していること、今後やってみたいことや課題等情報共有を行い、「少しでも困りごとを解消できることはないか?」と話し合い、「できそうなことからやってみよう!」と、意見がまとまりました。1月には、保護者の会が発足します。

今後も一緒に情報共有しながら、「困った時には相談できる」場所ができ、普段発信することが少ない不登校やひきこもりの方々が、安心して社会に繋がれるきっかけになってほしいです。





ふれあい給食グループ「ほのぼの」のお弁当配食会に参加しました (R2.10.16)

垂水区社協でソーシャルワーク実習をしている実習生の武田です。

10月7日に多聞台地域福祉センターで行なわれた、ふれあい給食グループ「ほのぼの」のお弁当配食会に参加しました。

新型コロナウイルスの影響により、様々な人と交流をしながらの会食ができないため、配食会という形で行われることになりました。初めは、配食という形に心配がありましたが、配食をしてみると、「安い金額でお弁当を提供してくれてありがたい。」「外に出る機会ができてうれしい。」などの喜びの声を聞くことができました。

しかし、その一方で、配食を希望されず会えなくなった人がいることや、コミュニケーションをとる機会がなくなったこと、仲の良かった人ともあいさつ程度しか言葉を交わさなくなったなどの声が参加者や民生委員からあり、新型コロナウイルスがもたらしている影響は大きいのだと感じました。

今回、参加してみて、地域の方の交流の場を作ることで生きがいや楽しみにつながってくるのがわかったため、少しでも早くコロナウイルス前の生活に戻り、給食会が開催できれば、多くの笑顔が戻ってくるのだと感じました。



つどいの場「かけはし」の卓球に参加しました (R2.10.19)

垂水区社協でソーシャルワーク実習をしている武田です。

つどいの場「かけはし」では、毎月1回、コープミニ東舞子組合員集会室にて、卓球を行っています。

新型コロナウイルスの影響もあり、距離を保ち、マスクを着けたままの卓球となりますが、参加者の皆様は汗をかきながら元気に活動されていました。

感染予防対策として、アルコール消毒、参加者名簿を書いてもらう、窓を開けて換気を良くするなどといった対策が行われていました。

参加者からは、「気楽にコミュニケーションが取れること、自由に活動できることが良い」といった声を聞くことができました。

地域の高齢者であれば誰でも参加可能な「つどいの場」の活動があることで、健康な体の維持につながるだけでなく、家にこもりがちにならないことにもつながっていくと感じました。

【日時】 毎週金曜日 10:00～12:00

【場所】 コープミニ東舞子 組合員集会室(垂水区舞子台4丁目9-8)

【会費】 100円

(参加をご希望の際は、区社協までお問合せください)



癒し処「ぬくもり」の活動におじゃましました (R2.8.17)

癒し処「ぬくもり」は、アロマオイルを使用したハンドマッサージと、プロの理容師によるカット&顔そりを色々な場所に出向いて、低額で施術されています。

8月5日、今回の活動場所は、神陵台住宅西集会所です。机にはビニールシートを設置して、こまめに手指消毒。ゆっくりお話をしながら、ハンドマッサージ「気持ちいい～」「そこ効くう～」



おひとり終わるごとに、手指も道具も洗って消毒されていました。

カット後には「若返ったみたい!」「18歳に見えるかしら!」と、室内には皆さんの笑顔と笑い声があふれていました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか外出できない皆さんにとって、「来てもらえる!」のは、本当にありがたいことです♪



介護予防体操「爽やか元気クラブ・塩屋」活動中! (R2.8.27)

コープミニ塩屋店の2階にある組合員集会室で、月に1度「爽やか元気クラブ・塩屋」が活動しています。

ただ身体を動かすのではなく、音楽に合わせて腕を伸ばしたり、両手で別の動きをするといった頭を使う体操も行い、まんべんなく身体の筋肉をほぐしていきます。

手の動きが先生の手本と合わず「あれ?あれ?」と言いながらも、「間違えた方が頭が活性化するのよ～」と笑い合いながら行なっています。

感染症予防対策として2mの間隔をあけ、窓から空気を取り入れ換気しています。

20分おきに休憩をはさみ、熱中症対策も万全!お近くにお住まいの方は、お気軽にご参加ください。



【日時】 毎月第3火曜日 10:00～11:15

【場所】 コープミニ塩屋2階 組合員集会室(垂水区塩屋町3丁目9-13)

【会費】 100円

(参加をご希望の際は、区社協までお問合せください)



「さくらシニア」の活動におじゃましました(R2.9.15)

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、活動できない日が続いていましたが、やっと活動を再開されました。

以前から定期的に訪問されていた高齢者デイサービスで、メンバーを減らし間隔をあけての出演です。

今回は、“歌う”曲数を減らし、リズム体操や頭の体操がメインのプログラムです。



音楽に合わせて、おもわず手足を動かし、みんなが踊りだす…とても楽しい時間でした。

『私たちも、いつも皆さんから元気をいただいているんですよ。』『お会いして、顔が見える!声が聞こえる!って、本当にいいですね。』と、お話される「さくらシニア」の皆さんのお元気な笑顔がとても素敵でした。

「7丁目クラブ」活動中!(R2.9.24)

ジャラジャラと麻雀牌同士ぶつかる音が、家の中に響き渡ります。

代表の阿随さんが近所の空き家を活用し、地域の方が気軽に集える場を作りたいという思いで4年前から「7丁目クラブ」の活動を開始。現在はコロナ感染予防のため、毎週月曜日のふれあい喫茶は休止中ですが、健康麻雀※は毎週木曜日に開催されています。人との距離を保たなければいけない昨今、ただ麻雀の卓を囲むだけでなく、他愛ないおしゃべりができる貴重な場になっています。

使用する備品は、使用前にアルコール消毒し、扇風機で換気を行い、感染症対策も行っています。

人とのふれあいが減ってしまい、お一人で過ごす時間が多くなってしまった方、一度遊びに行ってみませんか?初心者大歓迎です!!

※健康麻雀…お酒や煙草、そしてお金が絡まない「3つのない」をモットーにしたクリーンな遊び方で認知症予防につながる麻雀



【日時】 毎週木曜日 13:00～15:30(現在、月曜日のふれあい喫茶は休止中です)

【場所】 垂水区上高丸(「7丁目クラブ」の看板が目印)

【会費】 300円

(参加をご希望の際は、区社協までお問合せください)



ふれあい喫茶 「希望～のぞみ～」活動再開!(R2.11.27)

ふれあい喫茶「希望～のぞみ～」は、地域の方々が気軽におしゃべり出来る場としてオープン以来、人気のつどいの場となっています。

新型コロナウイルス感染拡大のため長らく休止していましたが、7月17日から活動を再開されました。

今までは、地元の「NPO法人ポポロ」さん手作りのクッキー等のメニューがあるふれあい喫茶を開催していましたが、今回は神戸市の「元気!いきいき!!体操」のDVDに合わせて介護予防体操を行いました。

プロジェクターは垂水区社協の「介護予防のためのプロジェクター支給事業」を活用し、映像に合わせて頭と身体を動かしました。

参加された方からは「久々にみんなと顔を合わせ、身体も動かして気持ちよかった～」という喜びの声をいただきました。

お近くにお住まいで外出の機会が減ってしまった方、一度遊びに行ってみませんか?

【日時】 毎月第3木曜日 10:30～11:30

【場所】 コープ神陵台店 組合員集会室(垂水区神陵台3-3)

(参加をご希望の際は、区社協までお問合せください)

介護予防のためのプロジェクター支給については、垂水区社協にお問い合わせください。



音楽を楽しむつどいが開催されました(R2.12.17)

12月13日(日)に、小東山地域福祉センターで音楽を楽しむつどいが、小東山地区民生委員児童委員協議会、ひまわり給食会の主催で開催されました。

コロナ禍で、集まるのが難しい中「みんなで意見を出し合って、こんなことができるかも、あんなこともできるかもと、できることを考えた中で、いろいろな方のご協力があって『音楽を楽しむつどい』を開催できました。」と河合代表。

出演は、小東山在住のボランティアで「まくらもとコンサート」と名付けた音楽活動を行う今藤雅照氏。今藤さんは、ピアノ・ピアノカ尺八を駆使して、「月の砂漠」などの童謡、少し懐かしい歌謡曲「影を慕いて」「長崎の鐘」など、幅広いレパートリーから、3部とも違う曲を演奏してくださいました。ご参加のみなさんは耳慣れた曲の心地よい調べを楽しまれていました。

プログラムのラストは「明日があるさ」を、ひまわり給食会オリジナル歌詞で、♪「今年1年 幸せに 家族のため じぶんのため 元気に生きましよう♪」とマスクの中で歌って、「イエイ!」と拳をあげて気持ち一つに。音楽を楽しまれた後も、そこ、ここでソーシャルディスタンスに気をつけながらのお話が弾んでいました。

検温・消毒の徹底と共に鑑賞時間も3部制にして、少人数ずつ密にならない席配慮にされ、休憩時間は換気も十分に行われていました。「Withコロナ」に対応した”新しい地域福祉活動のカタチ”を目指す取り組みが各地で行われています。

